

漱石が詠んだ熊本城



午砲打つ 地城の上や 雲の峰

加藤清正は築城の名人といわれ、清正が築いた熊本城、大阪城、名古屋城が天下の三大名城とされています。熊本城は西南の役の際、薩摩軍の猛攻を受けながらも一歩も城内に薩摩軍を入れず、その築城の巧みさが実戦で証明されました。しかしながら、このとき謎の失火で、天守閣などは焼失してしまいました。漱石がいたころは、熊本城の月見櫓跡には午砲台がおかれ、正午を知らせる合図として空砲「ドン」が打たれていました。

